

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493000085	事業の開始年月日	平成20年12月1日	
		指定年月日	平成20年12月1日	
法人名	株式会社 日本アメニティライフ協会			
事業所名	花物語 やまと			
所在地	(〒242-0001) 神奈川県大和市下鶴間2973-2			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成27年10月2日	評価結果 市町村受理日	平成28年2月29日	

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9階		
訪問調査日	平成27年10月23日	評価機関 評価決定日	平成28年3月4日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所概要】 この事業所は、小田急江ノ島線南林間駅から徒歩約10分の緑地や畑が点在する住宅地に位置する。建物は木造2階建てで、小規模多機能型居宅介護事業所が併設され各種のイベントや避難訓練などを合同で行っている。相互に職員や利用者が顔なじみになっている。</p> <p>【理念の実践と職員の連携】 事業所の開設以来の理念「人生の大先輩」「ホッとな家」「目配り、気配り、心配り」を踏まえて、サービスのモットーを「皆様の幸せな笑顔を頂きます」と定め、職員に周知を図り日ごろの支援に反映させている。職員はサービスに当たって第一に笑顔で接することを心がけ、年長の家族に対するような尊敬と親しみを持った声かけや誘導を行い利用者も笑顔で応じている。家族とのコミュニケーションを密にしてホームや利用者の状況についての情報提供に努め、相手の意向や希望を聞き取って職員が共有しサービスに反映させている。 職員同士ならびに管理者と職員の意思の疎通が図られ、不慣れな職員へのサポートや申し送り時の情報提供などがきめ細かく行われている。管理者やユニットのリーダーとの意見交換も活発に行われ、ケアの手法や安全対策など様々な提案が行われている。ベッドの手すりに手作りのカバーをかけて手をはさまないようにしたり、トイレ内の洗面台の上に介護用手袋のサイズ別の収納パックを作って備え付け、職員の使い勝手を良くする工夫をしている。</p> <p>【医療との連携とターミナルケア】 医療連携体制加算をとり、配置している正看護師による24時間オンコール体制が構築されており、同じくオンコール体制を整えている往診医との連携もスムーズに行われている。家族の希望に対応して、医師と事業所との三者による話し合いが実施され、家族の同意と全面的な協力および看護師のサポートのもとに看取り介護が行われた。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	9～13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	14～20
V アウトカム項目	56～68	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>地域に根ざした施設運営を心がけています。定例となった保育園児との交流会をはじめ地域の方々を施設行事へお招きすること、入居者様の地域行事への参加や買い物等、地域の皆様との繋がりを大切にしています。裏庭にはボランティアさんによる菜園があり、そこで育った野菜を収穫し食し、玄関灯のツバメの巣の産卵から巣立ちまでを地域の方々と見守り合いました。入居者様それぞれの生活パターンを基本とした個別ケアを行い、入居者様皆様が安心して生活して頂けるよう支援しています。</p>
--

事業所名	花物語 やまと
ユニット名	1 Fフロア

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
		○	3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

事業所名	花物語 やまと
ユニット名	2Fフロア

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域に根ざした事業所として理念を踏まえ、入居者様に敬意を持って接し、安全・安心・清潔な生活を送って頂けるよう支援しています。	事業所の理念に基づき、サービスにおけるモットー「皆様の幸せな笑顔を頂きます」を掲げ、各ユニットに掲示している。職員が常に笑顔をもって接することにより利用者の笑顔を誘い、明るく和やかな生活が送れるように支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入しており、行事への参加交流を行っています。施設のイベントにもご協力頂いており、近隣農家の畑での芋掘りは毎年の行事となっています。	自治会に加入し、地域の祭りなどに参加している。保育園児が来訪し、合唱などを披露し利用者とは交流している。小学校児童の校外学習を受け入れている。ホームのカキ氷大会や秋桜祭りに子供たちが参加している。ボランティアが草花の飾りを作るキットを持参して利用者と一緒に仕上げている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	併設している小規模多機能型居宅介護とも連携し、ご家族や地域の方々からの疑問・質問に答えています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月ごとに開催し、参加者から意見や要望等を頂いて、より良い運営ができるよう生かしています。	運営推進会議は2か月ごとに開催している。メンバーは家族、自治会長、民生委員、区介護保険課と地域包括支援センターの職員が交互に参加している。日常の活動や利用者の近況、食中毒や熱中症の研修受講報告などのあと意見交換をしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市担当者とは運営推進会議で生活状態や活動状況、事故報告（発生時）を行い指導や助言を頂いています。また、市からの情報提供等随時連絡を取り協力関係ができています。	大和市介護保険課に運営推進会議の議事録や外部評価結果を持参して意見交換している。地域ケア会議が年2回あり、管理者が出席して事業所の説明をしている。市のグループホーム連絡会に参加して困難事例の検討や情報交換をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については行動制限を含め常に話し合いを行い、工夫したケアを行っています。また、研修を実施し自己のケアを振り返る機会を作っています。	身体拘束排除の方針は契約時に説明している。言葉による制止や行動制限などの弊害について、内部研修で職員に周知徹底し拘束のないケアに努めている。ユニットは施錠せず、玄関は安全確保のため原則施錠している。利用者が外出を望むときは、職員が同行し見守りをしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止・身体拘束の排除に関する研修を行い、ケアを行う上で言葉の虐待等問題や疑問を解決するよう理解を深めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	倫理及び法令遵守・権利擁護に関する研修を行い。人権の擁護の中で成年後見制度に触れ、施設内に3名の利用者があることで理解を深めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前には重要事項の説明を十分に行い、質問や疑問について納得されるまでご本人様やご家族様と話し合いを行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議の出席や面会にいらした際に面談を行い、ご意見やご要望を伺い対応できるよう努めています。	家族の訪問時や電話連絡の際に要望や意見を聞いている。介護料金の改定など重要な用件については、家族会を開催して説明し質疑応答をしている。家族から職員の名前が判るようにして欲しいとの要望あり、職員のエプロンに名前を縫い付けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや気づきカード、個別面談等で個々の職員の意見や提案を反映させ、事業所内の風通しが良くなるよう心がけている。	管理者は、職員が会議やサービスの現場で常に自由に意見や要望、提案が出せるよう配慮している。ユニットリーダーが意見や提案を取りまとめて管理者に伝えることもある。職員の提案で、利用者の重度化に合わせて食形態を変えるなどサービスに反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	施設長・管理者は各職員の勤務状況や仕事を把握し、随時面談を行い職場環境の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修はもとより外部研修についても受講する機会を阻害しないよう勤務ローテーションへの配慮を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市内のグループホーム連絡会に加入しており、交流会や職員の交換研修を行い、サービスの質の向上に努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様の今までのお話を伺いながら心配事や困っていることをくみ取り、ご要望を確かめながら不安を取り除き安心して過ごして頂けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご要望や不安、困っていることについてご家族様が納得されるまで話し合いを行い、協力し合える関係作りを行っています。また、他事業所からの情報にてアセスメントを作成しています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス開始にあたり必要に応じ、行政、医療への手続きや連絡を行いご家族様、ご本人様の要望や必要に応じ他事業所とも連携を図って支援を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物をたたんで一緒に仕分けをして頂いたり、人生の先輩としていろいろな事を教えて頂きます。お互いを気遣える関係を築いています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人様のご様子や暮らしぶりなどの情報をご家族様と共有し、必要時の受診などご家族と協力しながら行う事で、ご本人様の状態をご理解頂き精神的な支えになって頂いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご友人との面会や外出がゆっくり行えるよう配慮し、ご来所頂きやすい雰囲気づくりに心がけています。	墓参りや旅行、正月の一時帰宅など家族の協力を得て支援をしている。友人や知人が訪ねて来た場合は、居室や相談室に案内してお茶などの接待をしている。知人からの手紙の返事を出す際は投函などを手伝っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや作業を皆様で行えるよう工夫し、できないことを助け合って補い、「ありがとう」の言葉が自然に出てくる関係作りができています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後もご本人様・ご家族との関係を継続し、いつでも相談が行えることをお伝えしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様やご家族様から直接お話を伺い、表現できないかについては、日頃の会話や行動から汲み取るよう心がけ、ミーティングなどで把握・検討を行っています。	本人の意向、希望についてはアセスメントで聞き取り、日頃の会話、さりげない動作や表情の観察を通して把握している。言葉にしづらい思いなどは、家族、居室担当、看護師などが協力して把握し、カンファレンスで情報提供して共有している。朝食に入居前から飲み慣れた牛乳を提供している例もある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の生活状況やご家族様との関係、またサービス利用状況、入院時の情報等サービス提供事業者やご本人様・ご家族様にお話を伺い、把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の生活のペースを把握することに努めており、その日のご本人様の心身状態や意向に沿って出来ないことは職員と一緒に出来るよう援助しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護職員・看護師・介護支援専門員それぞれの立場で話し合い介護計画を作成しています。毎月モニタリングを行い、担当者会議で現状に合った介護計画の変更を行っています。	介護計画は、利用者ごとに長期・短期目標とサービス内容を設定し個別ケアを実施している。リビングに個別記録台帳を備え、計画の実施を記録して職員が共有している。毎月開催されるカンファレンスでは、居室担当者が取りまとめたモニタリングを検討している、見直しは6ヵ月ごと状態の変化があればその都度実施している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者様の日々の様子や状態は記録に残し、状態の変化や気づいたことを担当者会議等で話し合い介護計画に反映し、ケアに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	行政支援やボランティア、他事業所等活用し、ご本人様やご家族様の状況に即した支援を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会の行事への参を含め近隣の方々との交流の場への外出や施設行事での地域ボランティアの方々との交流を通して豊かに楽しみのある生活を送って頂けるよう努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問医とご本人様、ご家族様、事業者が協議の上治療方針を決め、病気の治療や経過観察を行っています。また、訪問医と専門医との連携を図り適切な医療が受けられるよう関係を構築しています。	協力医の往診が月2回あり、そのほか個別の診療がある。皮膚科は随時往診で、耳鼻科は家族が対応している。歯科は週1回の往診がある。医療情報は受診記録や申し送りに記録して共有している。看護師が常駐し、利用者の健康管理と必要に応じて医師へ情報提供をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を配置し、入居者様の健康管理や状態変化に応じた支援を行っている。24時間オンコール体制をとっており、入居者様の状態について適時報告し指示を受けています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は訪問医からの医療情報の提供や日常生活状況の提供を行い、退院時には退院後の治療・療養が安心して行えるよう病院関係者とスムーズな連携ができる関係を構築しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期に向けた方針について入居時に同意を頂き、重度化した場合には訪問医、ご家族様、ご本人様、職員が改めて話し合いを持ち、その方にあった終末期の迎え方を共有し、実施しています。	重度化した場合における対応の指針を入居時に家族に説明し、職員に周知している。事業所としては家族・本人の希望があればできるだけだけの支援をする方針である。家族の意向により、医師、看護師、職員と話し合い、密接な連携で利用者の看取りを実施した事例がある。	利用者の重度化に備えて、今回の看取りの経験と実績を総括し事業所全体で共有することを期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応方法については緊急対応マニュアルにて研修を行い職員への周知を図っており、実践的な指導を施設看護師により受けています。また、救命救急講習にも参加しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	事業者として災害時や夜間想定避難訓練を定期的に行い、地域の方々に参加して頂いている。また、全職員が消火器訓練を行い、火災予防の為日々の消防点検を行っています。	避難訓練は、消防署の立会いで年2回実施し、夜間想定訓練も行っている。訓練には近隣の住民が参加している。3日分の飲料水・食糧およびカセットコンロ、カイロ、おむつなどを保有し、備蓄リストによって管理している。緊急時には、事業所に5分～10分以内に駆けつけられる職員が数名いる。	

自己評価	外部評価	項目	外部評価	
			自己評価 実施状況	外部評価 実施状況 次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者は「人生の大先輩」であるという理念のもとに接遇しており、失礼のないよう心がけ、その方らしさや個性を大切にされた話し方や内容を考えた対応をしています。	接遇やプライバシーについての職員研修を実施している。利用者を人生の先輩として言葉遣いや態度に気をつけている。利用者のプライバシーに関することは、人前を避け居室や相談室で家族に話している。個人情報を含む書類は、施錠して管理している。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	生活習慣や価値観を大切に一人一人が自分のペースで生活し、やりたい事やできる事を自己決定できるよう支援しています。また自己決定が難しい方には自己決定ができるよう工夫した働きかけを心がけています。	
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の生活のリズムやパターンに合わせ、職員は業務や作業を工夫し連携をとって行っています。各入居者様がやりたい時、できる時を見極め、希望に沿った支援が行えるよう努めています。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容の活用やその方の好みやスタイルを把握し、清潔に生活できるような声かけを行い、洋服選び・着替えができるようお手伝いしています。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立の調達を業者調達としています。入居者様の状態に合わせた形態で提供し、できる方には下膳をお願いしています。	献立付きの調理済食材の配達を専門業者に依頼して、職員がご飯や汁物を調理している。利用者は盛付けや配膳、下膳などを手伝っている。職員は利用者とは談笑しながら食事の介助をしていた。毎月1日は赤飯が恒例で、外食は近くのカフェなどに出かけている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量は毎食確認し変動がある時は看護師、医師へ報告し、指示を受け対応しています。一人一人の好みや状態に合わせた食事を提供し習慣に合わせた支援を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人一人の能力にあわせ職員による声かけや介助にて利用者の口腔ケアを行っています。義歯は夕食後必ず洗浄剤を使用し口腔内の清潔の保持ができるよう支援しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	その方の排泄パターンを把握し、無理なく誘導を行い、排泄がトイレで行えるよう支援しています。また不安を持たれる方には見守りや声掛けを行っています。	排泄パターンをチェック表や申送り帳に記録し、トイレ誘導と排便コントロールをしている。失禁した場合はさり気なくトイレに誘導し対応している。夜間は、利用者の睡眠を優先し、介助している。トイレの表示は記号や大きな文字で分かりやすい。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	職員は運動の必要性を理解しており、食事や水分の提供に際し各専門職のアドバイスを受けたり、研修等へ参加しその方に応じた予防に取り組んでいます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴管理は職員が行っているが、その方の希望や体調を優先し日程や時間を調整しています。気持ちよく入浴して頂けるよう声掛けやタイミング等工夫した支援を行っています。	入浴は、週2回を原則としているが希望により時間や回数を柔軟に対応している。個浴、シャワー浴主体で、機械浴対応の利用者は、併設の小規模多機能事業所のものを使用している。湯は一人ひとりの使用ごとに交換し清潔を保っている。柚子湯などで季節を感じてもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、その方の能力に合わせた運動や作業で体を動かして頂き安眠できるよう環境を整えています。夜間巡回時に室温・湿度や睡眠状況等を確認し支援を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬方法、用法、用量、副作用について訪問医の指示や薬剤師の注意を守って行っています。また、変更があった場合は看護師が申し送りを行い、職員全体に周知を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	様々な生活歴、性格や能力を活かし、その方が力を発揮し役割を持って生活を送って頂けるよう心がけ、感謝の気持ちをお伝えすることで、やりがいを持って頂けるよう努めています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物や散歩等、その方の希望に沿うよう職員が連携をとり支援しています。また、ご家族様と協力しながらお墓参りや食事、外泊ができるよう支援し、自治会と協議し花見へ参加したりと、楽しむ時間を持って頂けるよう努めています。	近くのスーパーや衣料店に買い物に出かけている。車椅子の方も車を利用して外食したり、家族と外出したりする機会を作っている。正月には、近くの諏訪神社に初詣に行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は概ね施設が行っていますが、その方の希望に沿い、買い物やコーヒープレイク等の付き添いを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事務所内の電話のご利用や手紙のやり取りは、ご本人とご家族の意向に即して行えるよう支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族的な雰囲気を大切に季節の花々を飾り、南向きの窓から差し込む光でホッとできる明るい空間となるよう配慮している。室温・湿度管理を行い心地よく過ごして頂けるよう努めています。	共有空間はバリアフリーと手すりの適切な配置で安全を確保している。玄関は、花守によるユリなどの美しい花が活けてある。リビングは周囲に高い建物がないため終日明るく、清掃が行き届いて清潔である。壁には、当月の誕生日を迎える利用者のお知らせや、梅まつり、保育園児と交流した思い出の写真が掲示してある。玄関前のスペースは広く、天気の良い日は外気浴を楽しむ格好の場所となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	仲の良い方同士で居室で過ごして頂けるよう配慮したり、入居者様の相性に配慮した席順を用意し、入居者様が気持ちよく快適にお過ごし頂けるよう努めています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅よりご本人様の馴染みの品物や家具を持ち込んで頂き、その方の居心地の良い環境作りに配慮し、今までと変わらない生活を送れるようご家族様に協力をお願いしています。	居室は、空調設備、照明器具、収納設備、ベッドが常備されている。カーテンは自分の好みのもので良い。テレビやタンス、鏡台、椅子、カレンダー、時計、縫いぐるみ、家族写真など馴染みのものを持ち込んでその人らしい居室になっている。表札は大きく書いた名前を貼ったり写真を飾ったりしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	トイレ、浴室、各居室は大きなラベルで表示し迷わないよう工夫しています。出来ないことは職員が一緒に行くことで自立した生活を送って頂けるよう支援しています。		



目標達成計画

事業所名 花物語 やまと
 作成日 平成27年12月5日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	33	利用者の重度化に備えて、今回の看取りの経験と実績を総括し事業所全体で共有することを期待します。	今回のようにご家族に協力する形で医療と連携して行う事ができたことは職員の意識の向上に繋がっている。今後もご家族の希望があれば事業所としてできること・できないことを伝え、希望に添えるよう進めていく。	ご逝去に至るまでの2年間の経緯を文書にまとめ、各ユニットのミーティングにて発表し意見交換を行った。また、運営推進会議でもお話しさせて頂いた。	2か月
2					
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
 注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。